

8桁BINに向けた準備

加盟店への影響

2021年

VISA



トピック

- 1 背景と状況

- 2 8桁の業界標準に向けた準備を行うための変更の計画と実施

- 3 必要となる対応

トピック

1 背景と状況

BINの定義

業界標準の変更

対応の必要性



銀行識別番号（Bank Identification Number、BIN）

定義：国際標準化機構（ISO）がVisaに割り当て、Visaがクライアントにそのライセンスを提供する数字。プライマリアカウント番号（Primary Account Number、PAN）の上数桁となる

6桁のBINまたは8桁のBIN



アカウントレンジ：9桁、6桁または8桁のBIN

PAN：BINの桁数によって決まらない

グローバル業界標準の変更



International
Organization for
Standardization

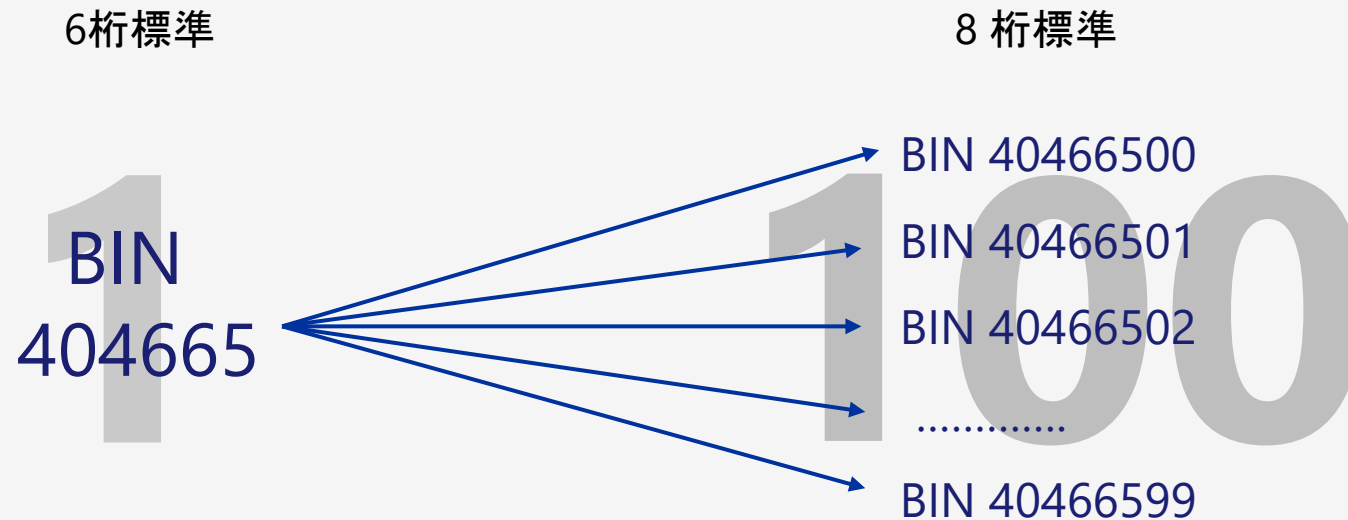
背景と状況

- 国際標準化機構（ISO）は、決済を含むあらゆる業界における自主標準の開発を促進するための方針、プロセス、構造を確立している
- 業界のBIN供給不足に対応するため、ISOは決済ブランドを含む業界専門家で構成される作業グループを結成し、同グループは2016年に6桁から8桁に標準を変更することに合意
 - ISOは新規のリクエストについてはすでに8桁のBINを割り当てている
- 新しい標準に対応するため、Visaでは2017年に同標準を承認し、2022年4月を最終的な発効日とすることを発表

2022年4月以降の6桁から8桁への移行による影響

同じ上6桁のBINが異なるイシューアーに割り当てられ、様々なプロダクトに使用されるようになる

- ISOは、上6桁の番号との衝突を防ぐため、8桁の割り当てを保護しなくなる
- イシューアーは既存の6桁のBINを8桁に変換し、再割り当てのため一部をリリースする
- 新しい割り当てについては、異なるイシューアーに同じ6桁のプレフィックスのBINが発行される



6桁から8桁への移行による影響

同じ6桁のプレフィックスを異なるイシューアーに割り当て、異なるプロダクトに使用する3つの典型的なシナリオ

シナリオ	2022年4月以降
ISOが新しいBINを割り当てる： 11111111 - 英国のイシューアー、クレジット	11111111 - 英国のイシューアー、クレジット 11111100 - ガーナのイシューアー、デビット
クライアントが既存の6桁のBINを変換する： 412345 - ウクライナのイシューアー、クレジット	41234500 - ウクライナのイシューアー、クレジット 41234501 - 米国のイシューアー、プリペイド 41234502 - オーストラリアのイシューアー、デビット
クライアントが新しいBINをリクエストする： 47612645 - カナダのイシューアー、コーポレート	47612645 - カナダのイシューアー、コーポレート 47612627 - 米国のイシューアー、プリペイド 47612652 - セネガルのイシューアー、クレジット

6桁から8桁への移行による影響

より多くのイシューアーが8桁フォーマットに移行するに伴って、エコシステム中断のリスクが高まる

- 問題が発生する時点とその深刻度は、BINの使用、支援テクノロジー、サービスプロバイダー間の依存度、ダウンストリームプロセスの流れ、関連するアウトプットにより異なる
- 時間の経過に伴って、プロダクトタイプ、国、またはサービス適格性の識別がさらに問題となる

影響が出る領域	アクワイアリングとプロセッシング
加盟店ポイント オブ セール	✓
データウェアハウジング	✓
不正行為管理	✓
加盟店サービシングとディスピュート	✓
規制関連	✓

業界の変化による収益の損失および非効率性のリスク

イシューアの国またはプロダクトタイプへの評価に6桁BINを使用することは、すでに全業界で問題となっている

シナリオ：クライアントが既存の6桁のBINを変換する。リリースされた8桁のBINの一つが新しいイシューアに割り当てられる

米国の大型加盟店で1週間に1,000を超える取引が拒否される。

イシューアは、新しいクレジットプログラムにこれが発生している理由を説明できない。

アクワイアラーとVisaには取引が表示されないため、理由を説明できない。

さらに調査を進めると、BINは10年以上も前に、加盟店の「Do not accept」（受け付け拒否）不正行為管理リストに記載されていた東ヨーロッパ国のあるイシューアに割り当てられたことが判明する。



リスク：潜在的（または以前の）顧客からの売上の損失と反感

シナリオ	2022年4月以降
クライアントが既存の6桁のBINを変換する： 412345 – 東ヨーロッパのイシューア、クレジット	41234500 – 東ヨーロッパのイシューア、クレジット
➔	41234501 – 米国のイシューア

業界の変化による収益の損失および非効率性のリスク

イシューアの国またはプロダクトタイプへの評価に6桁BINを使用することは、すでに全業界で問題となっている

**シナリオ：クライアントが既存の6桁のギフトカードBINを変換する。
新しいイシューアがBINをデビットカードとして使用する**



カードホルダーはビルペイ加盟店でカードの登録を試みるが、繰り返し拒否される。

その後、カードホルダーは新しい映画ストリーミングチャンネルの支払いを行うためにカードの登録を試みる。

どちらの場合も、6桁のBINはリロード不可能なプリペイドカードとして識別されるため、加盟店はカードを設定できないことを知らせる。

イシューアは、このデビットカードプログラムにこれが発生している理由を説明できない。カードホルダーには十分な資金とオーバードラフトプロテクション（自動融資）がある。

アクワイアラーとVisaには拒否が表示されないため、理由を説明できない。

リスク：顧客の反感。利益の高いリカーリング支払いやサブスクリプションサービスの取引機会の喪失。2021年には4,730億ドル¹と推定



シナリオ	2022年4月以降
クライアントが既存の6桁のBINを変換する： 451548 – カナダのイシューア、ギフトカード	45154800 – カナダのイシューア、ギフトカード
	45154801 – 米国のイシューア、デビットカード

トピック

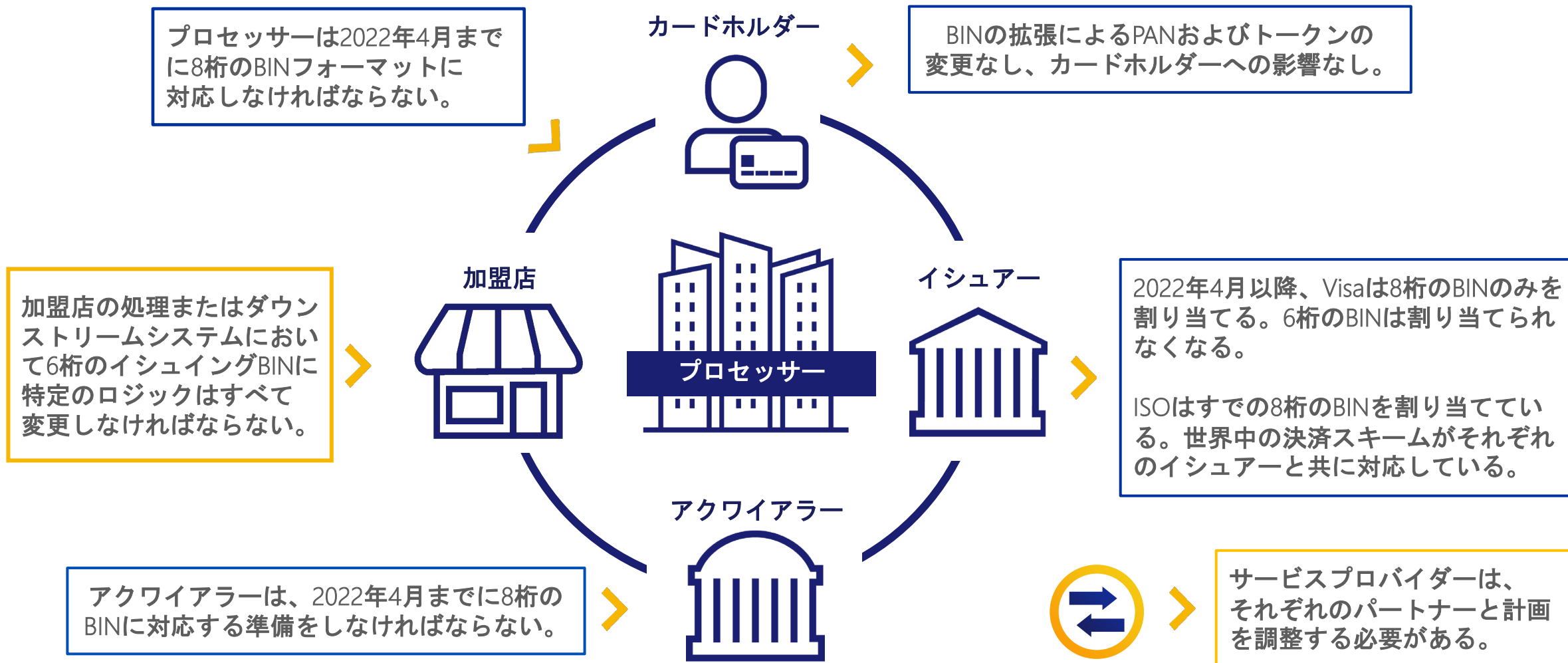
1 背景と状況

2 8桁の業界標準に向けた準備を行うための変更の計画と実施

- Visa要件
- 影響評価
- ポイントオブセール
- その他
- ベストプラクティス



エコシステム全体へのBINの拡大



2020年のDeloitte社によるインタビュー調査

3つの基本的な質問に回答するために、94か国で事業を運営するクライアントとのインタビューを実施

1 影響を受けるとして特定された領域とは？

イシューングBINは決済エコシステム全体でどのように使用されているか？どのような変更が必要となるか？

2 未解決の問題や課題にはどのようなものがあるか？

クライアントは、Visaやその他の第三者からさらにサポートが必要となるリスクや未決定事項を認識しているか？

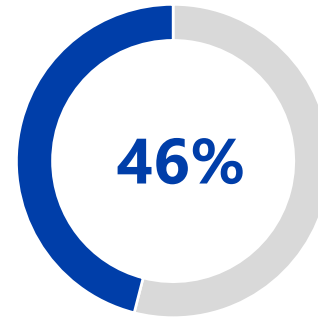
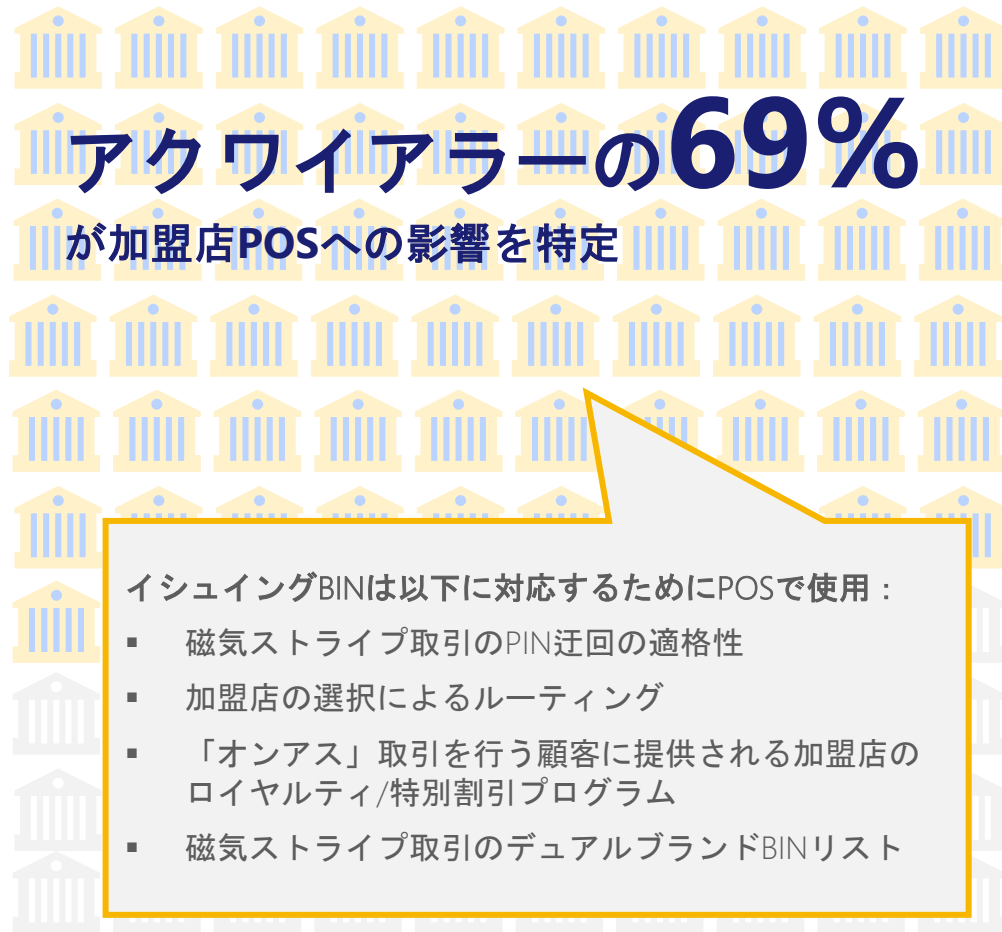
3 全体的な準備態勢の進捗度は？

クライアントは分析段階を完了しているか？第三者を関与させているか？

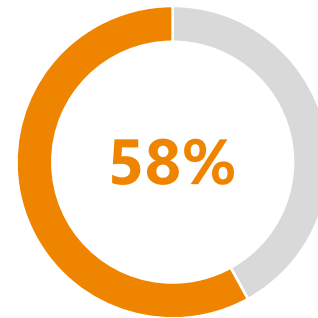


加盟店ポイントオブセール (POS)

8桁のBINに関連する影響の可能性を評価するために行われたインタビュー調査により、大きな影響を受けるとして特定されたのはPOSハードウェア、端末ソフトウェア、BINテーブルを含む加盟店ポイントオブセール



が、イシューイングBINに基づいたハードコードロジックのPOS端末を特定

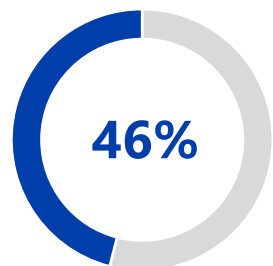


が、端末管理システムを介して参照される端末に読み込まれたBINテーブルへの影響を想定

Numerics Initiative: Acquiring & Issuing Impacts Discovery Interview Findings (Visa.com/8digitBIN) を参照

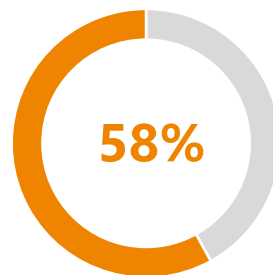
加盟店ポイントオブセール (POS)

取引のルーティングにPANの上6桁を使用する設定により、取引処理のライフサイクル全体に幅広い影響が及ぶことが判明しました



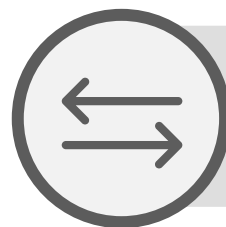
46%

が、イシューING BINに基づいた
ハードコードロジックの
POS端末を特定



58%

が、端末管理システムを介して
参照される端末に読み込まれた
BINテーブルへの影響を想定



ルーティング
&
オーソリ

- 国際取引
- 「オンアス」取引
- リスク規則



クリアリング
&
セトルメント

- 加盟店割引レートの
識別



会計
&
照合

- インターチェンジの計上
- 手数料の計算

加盟店に影響する可能性のあるその他の領域

これらの変更がバックエンドシステムに影響するかどうかを判断する必要がある



以下に該当する場合に、BINの拡大について考慮すべき特に重要な領域：

- 独自のPOS環境を管理している
- サードパーティとBIN情報を共有している
- 取引処理において独自のBINテーブルを使用している、またはサードパーティを介して供給される独自のBINテーブルを使用している
- PANの上6桁を使用するシステムロジックまたはPOSデバイスがある



かつ、以下にBINを使用している場合：

- プリペイドカードの識別
- 不正行為やチャージバックの分析
- 不正行為またはチャージバックの防止
- イシューアの識別
- ルーティング
- 固有のBINの識別（フリートカード、GSAカード、その他など）
- 承認率/オーソリ分析の最適化
- ロイヤルティソリューション
- キャッシュバックのクオリフィケーション
- 分割払いのクオリフィケーション
- 限定的アクセプタンス（クレジット、デビット）
- 追加料金
- 強力なカスタマー認証（PSD2関連プロダクト）
- バックオフィスプロセッサ（照合）

アクワイアラーと協力して、適時にバックエンドシステム要件を実施すること

考慮すべきその他の影響

インタビュー調査において、アクワイアラーのうち30%がディスピュート管理プロセスへの影響を認識

加盟店サービシングへの影響の可能性

検索機能：

- イシューングBINまたは上6桁/下4桁の検索が行われる
- アカウントプレフィックス検索が行われる

取引画面：マスキングされたPAN（上6桁/下4桁）を含む支払い方法が表示される

ディスピュート管理への影響の可能性

- コンフィギュレーションテーブル
- 検索機能
- レポート
- 照合
- ディスピュート解決のためのイシューアーの特定



PCI DSSの考慮

8桁BINの採用について解決すべき疑問点に伴う、PCI DSS標準（ペイメントカード業界データセキュリティ標準）の継続的な引き上げ

画面とレポートに表示されるデータ

規定により、ビジネス上の正当なニーズがあるユーザーは、PANの数字の一部またはすべてを確認可能。イシューング数値標準の変更の早期段階で調整。

保存データ

PCIでは、保存データを保護するため少なくとも6桁を切り捨てまたは暗号化しなければならないとしている。「切り捨て」を保存データ保護のためのPCI要件に準拠する唯一の手法として使用している加盟店が、8桁のBIN全体を表示することを希望する場合は、そのPANの下2桁を保持できる。

8桁のBIN全体と下4桁を表示することを希望する加盟店は、その他の所定データ保護手法（暗号化、ハッシュ、トークン化など）を1つ以上追加しなければならない。

Visa加盟店のベストプラクティス - 要約

- インターネットからBINテーブルを購入しないこと
- 承認済みのテーブルについてはアクワイアラーに連絡すること
- Visa BIN Attribute Sharing Service (VBASS) を使用する可能性を検討すること
- 取引処理能力を確認し、かつBINの長さにかかわらずダウンストリーム活動を完了すること
- プロダクト、通貨、または発行国について知る必要がある場合は、少なくともPANの上9桁を読めるようにシステムを更新すること

トピック

- 1 背景と状況

- 2 8桁の業界標準に向けた準備を行うための変更の計画と実施

- 3 必要となる対応

今何をすべきか

発効日は2022年4月

- 独自のPOS環境を管理している場合は、イシューイングBINがどのように使用されるかについて詳細を明らかにし、上6桁に基づいたロジックをすべて置換する
- インターネットから入手された専有BINテーブルを使用していないこと確認する。
アクワイアラーからの情報入手を開始する
- ダウンストリームシステムへの影響（請求書発行、レポート、キー管理など）を評価し、より長いBINに対応するために必要な変更を行う
- 円滑な運営とダウンストリームプロセスを確認するためテストを実施する必要性を検討する
- 初期評価を行った後、アクワイアラー、プロセッサー、ベンダー、サービスプロバイダー、その他のパートナーと協力し、計画とスケジュールを調整する
- 決済スキームのリソースにアクセスし、さらにガイダンスを得る

迅速な対応が必要な理由

“

ダウンストリームシステムや処理システムに必要となる変更にはより長い期間がかかる場合があります、アクワイアラー、サービスプロバイダー、ベンダーと調整が必須となる。

Deloitte Consulting、2020年8月

Visaの8桁計画リソース



Numerics Initiative



Visa.comの「Numerics Initiative」ページ :

Acquiring and Issuing Impacts: Discovery Interview Findings（アクワイアリングとイシューイングへの影響：インタビュー調査結果）、Planning Questionnaires（計画質問票）、クイックスタートガイド、よくある質問を含む関連資料を加盟店に配布するためのサイト。



Visa BIN Attribute Sharing Service :

加盟店の処理体験とチェックアウト体験を改善するためにVisa BIN Attributeの共有を可能にするアプリケーションプログラムインターフェイス（API）。加盟店はアクワイアラーまたはアクワイアラーがスポンサーするサードパーティからBIN Attributeデータを手に入れることが可能。



質問に回答するために予定されているウェビナー



NumericsSupport@visa.com